

多治見市
浸水事前防災行動計画（タイムライン）
第1回検討会の結果と課題整理

平成27年10月28日（木）
多治見市タイムライン事務局

第1回検討会の概要

開催日時 : 平成27年7月21日(火)15:30~17:45
開催会場 : 多治見市産業文化センター3階中会議室
議事内容 : タイムラインに関する認識共有、タイムラインの事例について
検討会の進め方について
平成23年台風15号対応の振り返り(ワークショップ)



ワークショップで抽出された課題（1）

＜ワークショップで出された意見（一部修正・加筆）＞

- もう少し早く避難勧告もしくは避難準備情報を出す必要があった（意思決定G）
- 災害対策本部設置をもっと早くすべきだった（意思決定G）
- 浸水により病院が孤立した（社会基盤G）
- 浸水により樋門操作員が孤立（社会基盤G）
- アンダーパスが冠水し、道路が途絶した（社会基盤G）
- アンダーパスの冠水により交通渋滞が発生した（社会基盤G）
- 交通渋滞等が原因となり、ポンプ車が到着出来なかった（社会基盤G）
- 要避難者を十分に把握できておらず、避難がスムーズに行かなかった（住民避難G）
- 各町内会長への連絡体制を再確認しておく必要がある（住民避難G）
- スムーズに避難所を開設するために避難所開設の担当課と施設所管理との連携が必要（住民避難G）
- 110番通報により警察官が交通規制に向かうが警察官にも限りがある。警察の任務上、人命救助・捜索等対応しなければならないため、道路規制は道路管理者とも連携して行う必要がある（住民避難G）
- 保育園の警報時対応（保護者が仕事の為、暴風雨警報以外は保育園で保育をしている）（住民避難G）

ワークショップで抽出された課題 (2)

＜意見を分類・整理(事務局案)※重複有り＞

【意志決定】

- 避難勧告、避難準備情報等の早めの対応
- 災害対策本部設置のための早めの対応
 - 災害対策本部の設置、避難勧告等の意志決定を迅速(早めに)かつ確実にを行うためにはどうすべきか

【避難】

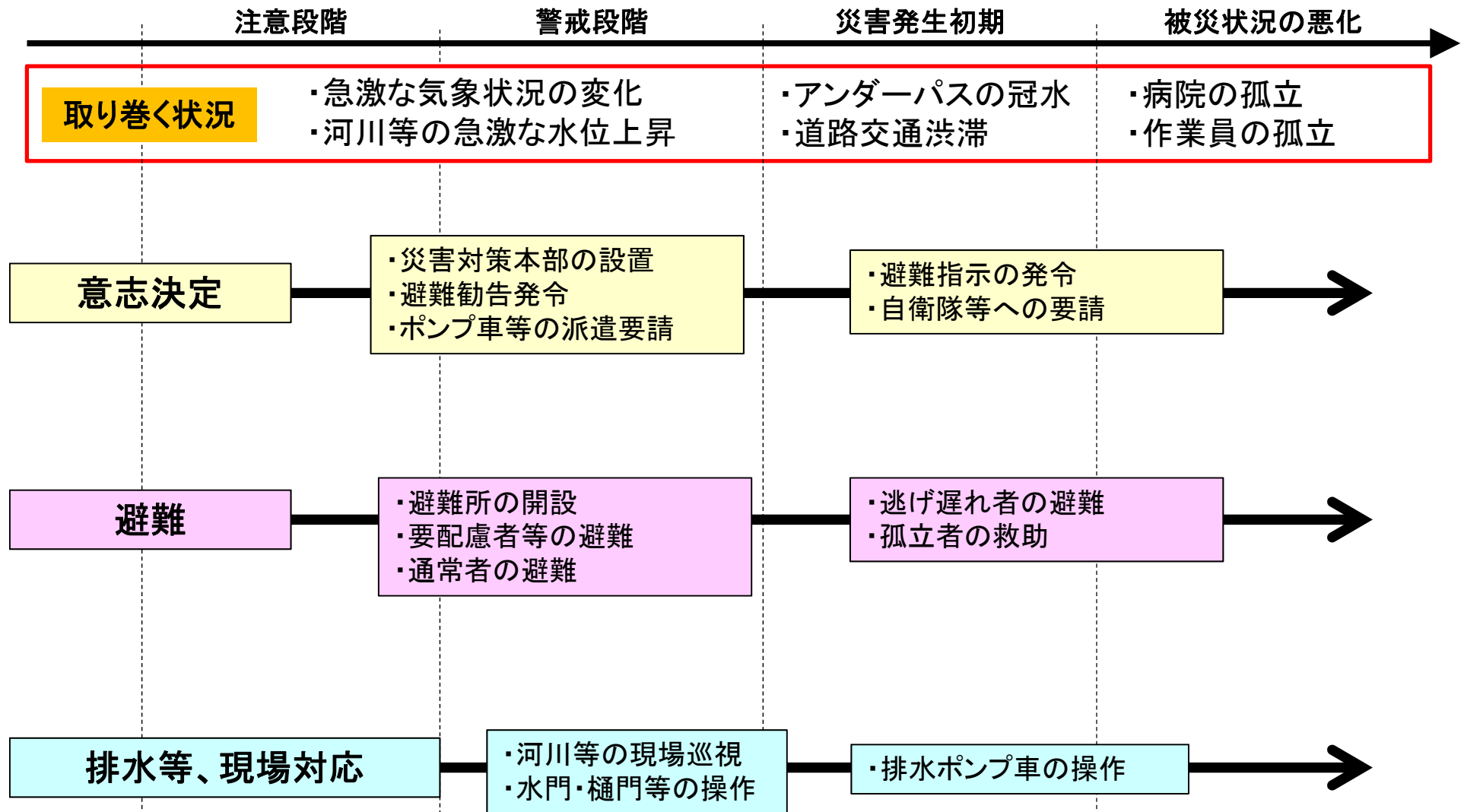
- 避難所開設の早めの対応
- 病院の孤立への対応
- 災害時要配慮者等の早めの避難に対する対応
 - 迅速かつ、スムーズに避難所を開設するためには、どうすべきか
 - 災害時要配慮者を確実に避難させるためには、どうすべきか

【排水等、現場対応】

- 出水時の道路交通の確保に向けた対応
- ポンプ車による排水の実施に向けた対応
- 樋門操作員の孤立
 - 災害対策車等が、現場に向かうための道路交通を確保するためにはどうすべきか
 - 平和町等で、排水オペレーションを行うためには、どうすべきか
 - 樋門操作員等、現場作業者の避難基準をどうすべきか

抽出された課題の関係性

(現象の推移・時間)



避難を中心とした課題の掘り下げ

【意志決定】

- 避難勧告、避難準備情報等の早めの対応
 - 災害対策本部設置のための早めの対応
- 災害対策本部の設置、避難勧告等の意志決定を迅速(早めに)かつ確実に行うためにはどうすべきか

～平和町での内水はん濫に着目した場合～(参考)

＜平成23年当時の基準＞

脇之島排水機場内水位(零点:TP+86.02m)
3.1m・・・避難勧告準備体制
→→→ 9/20 10:10に超過(3.14m)
4.7m・・・避難勧告体制
→→→ 9/20 11:10に超過(4.86m)
災害による危険が増加・・・避難勧告・指示
→→→ 9/20 11:45に平和町へ避難勧告

＜現在(見直し後)の基準＞

脇之島排水機場外水位(零点:TP+86.02m)
3.1m・・・避難準備情報
→→→ 9/20 10:10に避難準備情報(3.14m)
4.3m・・・避難勧告(平和町の最低部高さ)
→→→ 9/20 11:00に避難勧告(4.51m)
5.2m・・・避難指示
→→→ 9/20 11:40に避難指示(5.49m)

※平成23年9月災害の水位記録に当てはめた場合の想定

※上記水位は脇之島排水機場における10分毎の記録によるものであり、実際には1分単位での対応となる

社会影響を中心とした課題の掘り下げ

【排水等、現場対応】

- 出水時の道路交通の確保に向けた対応
 - ポンプ車による排水の実施に向けた対応
 - 樋門操作員の孤立
- 災害対策車等が、現場に向かうための道路交通を確保するためにはどうすべきか
- 平和町等で、排水オペレーションを行うためには、どうすべきか
- 樋門操作員等、現場作業者の避難基準をどうすべきか

アンダーパスを含めた道路浸水・交通規制 → 道路渋滞の発生（完全な抑制は難しい）

浸水発生通報に基づき、警察が交通規制を行うのは限界がある

防災対応支援を行う機関の車両等が到着できない（道路冠水の影響や渋滞）

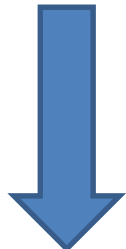
浸水発生を予測または感知し、道路管理者による交通規制が必要

防災対応支援の事前配置または災害対応のための車両通行ルールの必要性

連動する問題であるため、道路管理者、警察、防災対応支援機関の事前協議が必要

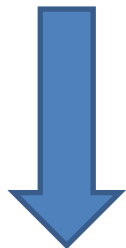
第1回の成果と第2回の方向性

＜第1回検討会で得られた成果＞



- 過去の災害対応における問題点の抽出
- 各組織の災害対応の概要を共有

＜第1回検討会における課題＞



- 当時の詳細な対応を記憶している参加者が少なく、議論内容が曖昧となる部分があった
- 上記の理由により、詳細な防災行動内容を整理できなかった

＜第2回検討会で目指す方向性＞

- 大まかな災害想定シナリオを設定し、現時点や将来においてどのような防災行動を取るべきかを『ゴール』を決めて検討